



2020年8月6日

各位

会社名 リバーホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 松岡直人
(コード番号: 5690 東証市場第二部)
問合せ先 執行役員経理部部长 山田憲男
(TEL. 03-5204-1890)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月24日に開示した2020年6月期(2019年7月1日~2020年6月30日)の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

(1) 当期の連結業績予想数値の修正 (2019年7月1日~2020年6月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	30,259	1,224	1,533	1,388	92円53銭
今回修正予想 (B)	28,375	980	1,281	1,217	81円12銭
増減額 (B - A)	1,884	244	252	171	
増減率 (%)	6.2%	19.9%	16.4%	12.3%	
(参考) 前期実績 (2019年6月期)	36,681	1,386	1,645	1,268	74円07銭

(2) 修正の理由

当連結会計年度は、鉄スクラップ相場(東京製鐵(株)宇都宮特級価格)が、期首の26,500円/トンから下落・上昇を繰り返し、4月には18,500円/トンまで下落しました。その後、鉄スクラップの供給減により26,500円/トンまで急上昇した後、下落し期末は24,000円/トンとなりました。第3四半期累計期間までは、売上高は、資源相場の変動の影響を受けて、前回予想より減収となった一方、仕入単価も下落したことにより利益は微減に留まりました。

一方、数量面では、第3四半期会計期間の途中までの金属スクラップの市中発生量は堅調に推移しておりました。しかしながら、第3四半期会計期間の後半から新型コロナウイルス感染症が拡大したことで日本の経済活動が停滞し、建設工事や工場生産の一時中断などにより金属スクラップの市中発生量が大幅に減少しました。この影響により当連結会計年度の売上数量は73.0万トン(前年同期比6.8万トン減、計画比2.9万トン減)となり、売上高及び営業利益は前回予想をそれぞれ6.2%及び19.9%下回る見込みであります。

また、営業外収益は保険金収入等の計上により増加したものの持分法による投資損益が前回予想より減少したことにより、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想をそれぞれ16.4%及び12.3%下回る見込みであります。